

第15回世界ソフトテニス選手権大会 日本代表チーム

本年インド、ニューデリーで以下日程で開催される第15回世界ソフトテニス選手権大会に日本代表として出場します。皆様の熱い応援を御願いたします！

11月17日(火) 開会式

18日(水) 男女シングルス1日目

19日(木) 男女シングルス2日目

混合ダブルス

20日(金) 男女ダブルス

21日(土) 男女国別対抗・閉会式

世界大会日本代表男子



世界大会日本代表女子



	氏名	所属支部	所属団体
監督	斉藤 広宣	千葉県	松戸市役所
コーチ	中堀 成生	広島県	NTT西日本広島
トレーナー	川上 晃司	兵庫県	スポーツインテリジェンス
選手	小栗 元貴	日本学連	東邦ガス
選手	高月 拓磨	日本学連	ヨネックス
選手	長江 光一	広島県	NTT西日本広島
選手	増田 健人	和歌山県	和歌山県庁
選手	船水 雄太	日本学連	早稲田大学
選手	船水 颯人	日本学連	早稲田大学

	氏名	所属支部	所属団体
監督	田中 弘	東京都	田中企画
コーチ	高川 経生	東京都	ヨネックス
トレーナー	吉川友巳奈	京都府	ゆらく接骨院
選手	加瀬 祐佳	日本学連	早稲田大学
選手	脇田 愛	日本学連	稲門クラブ
選手	小林 奈央	日本学連	早稲田大学
選手	山下ひかる	東京都	ヨネックス
選手	森田 奈緒	東京都	ヨネックス
選手	平久保安純	日本学連	早稲田大学

※柴田章平選手は事情により船水颯人選手に交替となりました。

大会結果 (平成27年4月～8月)

大会	種別	優勝	準優勝	3位	3位			
第22回全日本シングルス選手権大会	男子	船水 颯人 (早稲田)	船水 雄太 (早稲田)	村上 雄人 (NTT西日本広島)	長江 光一 (NTT西日本広島)			
	女子	小林 奈央 (早稲田)	平久保 安純 (早稲田)	榎本 有花 (どんぐり北広島)	中川 瑞貴 (ナガセケンコー)			
男子第60回・女子59回全日本実業団選手権大会	男子	NTT西日本広島	京都市役所	ヨネックス	トヨタ自動車A			
	女子	タカギセイコー	ヨネックス	きのくに信用金庫	ナガセケンコー			
第32回全日本小学生選手権大会	男子団体	兵庫県	山形県	静岡県	山口県			
	女子団体	東京都	兵庫県	鳥根県	北海道			
男子ダブルス	武市 大輝	山口	片岡 暁紀	兵庫	清水 雅生	滋賀	高橋 海斗	埼玉
	小松 隼士	下松ジュニアクラブ	広岡 大河	三田ジュニアクラブ	高岡 未来	瀧生町スポーツ少年団	黒坂 卓矢	わかくさ
女子ダブルス	五十嵐 美結	東京高小ジュニアクラブ	濱島 怜奈	鳥根 益田ジュニアSTC	岸浦 咲歩	兵庫	萩島 美羽	埼玉
	比留間 あい	世田谷クラブ	野津 乙笑	松江ジュニアスクール	岸浦 菜歩	三田ジュニアクラブ	松原 瑠	わかくさ
男子団体	上宮 (大阪)		多治見 (岐阜)	二本松第一 (福島)	杉戸 (埼玉)			
	芝東 (埼玉)		野津 (大分)	昇陽 (大阪)	岩国 (山口)			
男子ダブルス	北野 亮介	福島	水木 瑠	青森	渡邊 光樹	山形	根本 拓哉	福島
	鈴木 竜弥	西郷第一中学校	古川 祐也	尾上中学校	本間 海斗	中山中学校	檜山 遥斗	西郷第一中学校
女子ダブルス	竹田 真樹	兵庫	山崎 綾乃	石川	浅倉 衣里	埼玉	上野 小町	大阪
	中野 舞	大津中学校	藤岡 佑衣	中能登中学校	西東 彩葉	戸塚中学校	吉田 滯奈	昇陽中学校
男子団体	上宮 (大阪)		尽誠学園 (香川)	三重 (三重)	能登 (石川)			
	和歌山信愛 (和歌山)		文大杉並 (東京)	昇陽 (大阪)	東北 (宮城)			
男子ダブルス	内本 隆文	大阪	因 京将	石川	中村 和樹	福島	溝端 亮二	奈良
	丸山 海斗	上宮	米澤 要	能登	川嶋 雅也	学法石川	金子 大祐	高田商
女子ダブルス	笠井 佑樹	和歌山	小山 舞	和歌山	永尾 雪花	大阪	山根 雛乃	兵庫
	鈴木 梨沙	和歌山信愛	黒田 麻衣	和歌山信愛	中崎 萌	昇陽	古屋 瑛里加	須磨学園
男子団体	早稲田大学		同志社大学	日本体育大学	慶應義塾大学			
	早稲田大学		東京女子体育大学	東京経済大学	神戸松陰女子学院大学			
男子ダブルス	安藤 優作	(早稲田)	丸中 大明	(中央)	船水 雄太	(早稲田)	船水 颯人	(早稲田)
	安藤 圭祐		鈴木 琢巳		九島 一馬		星野 慎平	
女子ダブルス	杉脇 麻侑子	(早稲田)	木村 理沙	(早稲田)	永井 里佳	(早稲田)	河浪 佑	(関学大)
	上原 由佳		平久保 安純		小泉 友梨恵		内山 文乃	
男子シングルス	船水 雄太 (早稲田)	岡本 光生 (日体大)	名取 敬恩 (早稲田)	伊藤 幹 (慶應)				
女子シングルス	平久保 安純 (早稲田)	尾上 胡桃 (日体大)	花野 千晶 (東女体)	望月 友美佳 (明治)				

平成26年度事業報告(平成26年4月1日～27年3月31日)

平成26年度の事業遂行にあたっては、長期基本計画2012の中間の年と位置付け、ソフトテニスの普及振興を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、公益財団法人として、高い社会的信用を維持し、次の諸事業を積極的かつ効果的に実施した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

- ソフトテニス競技規則等の制定事業
ソフトテニスの振興と競技力の向上等、より安全に楽しく競技できるように次のことを検討し実施した。
 - ジュニア低学年用の審判マニュアルを検討し原案を作成した。
 - 講習内容の統一と審判員の資質向上を図るため、審判講習会用資料(パワーポイント)を作成した。
 - ソフトテニスとテニスと異なる施設基準となっているため、安全性を考慮しつつ施設基準(アウトコート)の共通化と国際大会の実施に支障が無いよう国際ソフトテニス連盟(以下ISTF)に提言すべく検討を進めた。
- 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
 - 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。日本連盟主催大会17回、共催大会13回を実施した。
 - 国民体育大会(シングルス導入)等の大会要項を改訂した。
- 地域ソフトテニス大会支援
9地区選手権大会、9地区高校選抜大会、10地区中学選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して助成を行った。
- 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
 - 地域グループ育成のため、次の事業を実施した。
 - 地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成と充実を図ることを目的として、各支部に対し会員登録料から次の率により助成した。(一般20%、高校生10%、高専10%、中学生20%、小学生50%)
 - 支部中学生大会、支部小学生大会、ソフトテニス週間への補助を行った。
 - ソフトテニス愛好者増加対策を実施した。
中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供し、またレディースを含めた社会人を対象として支部が実施する愛好者増加対策事業を支援した。
日本連盟で作成した指導教本(DVDBOOK)を活用して、愛好者増加に不可欠な指導者に指導法を提供し、愛好者の指導に貢献、協力してもらった。
- ソフトテニスの広報活動
 - メディア対策
平成13年から継続している全日本選手権大会のNHKテレビ放送を14回連続実現した。
 - ホームページの運営
 - 日本連盟ホームページの充実と積極的活用を行った。
 - 日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開した。
 - 過去の日本連盟主催大会の映像が、いつでも見られるように動画ライブラリーを推進し効果的広報を展開した。
 - 日本連盟ホームページ(英語版)とアジア連盟ホームページから国際情報を積極的に発信した。
 - 広報誌発行
 - 機関誌「ソフトテニス」の毎月発行(支部購読1,370名、個人購読294名)
 - 会員報を年2回発行した。
 - 平成26年度大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。
 - ソフトテニスのアピールと周知
 - ソフトテニスの映画・漫画・指導教本(DVD BOOK)の制作
・2020年の東京オリンピックを見据え、ソフトテニスを広くアピールするため、ソフトテニスの指導教本(DVD BOOK)、映画、漫画、の3点セットを制作した。指導教本と漫画は全国の1,500の書店を通じて販売を開始し、映画は平成27年4月4日より全国で一斉公開した。
 - マスコットキャラクターの製作
・日本ソフトテニス連盟創立90周年を記念し、広報手段としてのマスコットキャラクターを製作。
愛称については公募の結果「そふていー」に決定。平成27年3月の都道府県対抗全日本中学生大会、全国小学生大会より大会会場でデビューした。
- ソフトテニスの表彰・顕彰
各種表彰を実施し、570名の個人及び43団体を表彰した。
- ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業
技術等級の認定は平成26年度合計6,715名であった。
- 公認審判員の認定は平成26年度合計69,490名であった。
1級審判員の検定会を2回(101名)、研修会8回(185名)を実施した。
- ソフトテニス用具・用品、施設の公認
公認メーカー、施設業者の新規、更新手続きを承認した。
(ラケット証紙396,825枚、ネット証布2,800枚)

II. ソフトテニスの競技力向上

- ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査
 - 競技力向上
1) 競技者育成プログラムの推進
一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。
 - 日本代表チーム、ナショナルチーム及びアンダーチーム

の強化合宿

- 日本代表チーム年6回(男女合同5回、男子1回)
- ナショナルチーム(男子、女子)は男子2回女子年1回の強化合宿を実施した。
 - 全日本U-14・U-17・U-20は男女とも年1回～3回の強化合宿を実施した。
- 競技力向上のための海外遠征
 - 第13回チャイナカップ(中国・湖北省)
 - インドネシアオープン国際ソフトテニス大会(インドネシア・バリ島)
 - 第22回日・韓・中ジュニア交流競技会(岩手県・北上市)
 - コリアカップ(韓国・仁川市)
 - 第4回ワタキューカップ国際ソフトテニス(アメリカ・サンフランシスコ)
 - 第17回アジア競技大会(韓国・仁川市)
 - 第2回世界ジュニア選手権大会(インド・アーメダバード)
 - 第11回中山杯国際大会(中華台北・台中市)
- 強化スタッフ・強化委員を各種大会に派遣した。
- 医科学研究調査
 - 医科学スタッフによるサポート及びトレーナーズゼントの設営を実施した。
 - 各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てた。
- アンチ・ドーピング
 - アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を実施した。
 - 国内大会におけるドーピング検査を実施した。
 - 国際ソフトテニス連盟アンチ・ドーピング規程の改訂を行った。

2. ソフトテニスの指導者育成

- 指導者養成
 - 指導者養成講習会を8都道府県の会場や履正社医療スポーツ専門学校に於いて実施した。
 - 指導委員会と強化委員会が中心となり「最新版ソフトテニス指導教本」(DVD付)を発行した。
 - 全国の小学生・中学生・高校生・高校生の指導者の合同研修会を大阪で実施した。(参加者163名)
 - 公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会を名古屋で実施した。(参加者25名)

III. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

- 国際普及活動の推進
 - 国際組織(ISTF、ASTF)内での指導的立場に基づく国際性の向上
スポーツアコード総会に専務理事と国際委員長が参加した。世界アンチ・ドーピング会議(WADA)TUEシンポジウム・総会にアンチ・ドーピング委員会委員が参加した。
 - 普及対象国への指導者、選手の派遣
・3月23日～3月29日に開催された第5回タイオープン国際大会に、神奈川県大磯ジュニアソフトテニスクラブの引率者5名と選手5名が参加した。
 - 2020年東京オリンピックに向けた取組として文化活動等に参加するための情報収集と準備のため、日本連盟と東京連盟による東京オリンピック対策プロジェクトを設置した。
- 用具・用品の提供・流通の促進を図った。(ボール760打、ラケット360本、ストリング120張)
- 国際普及親善活動に結び付く12支部と1協議会の活動に対して国際親善大会補助を行った。
- 国際大会の開催促進
国際競技大会の参加種目への招致活動及び国際大会運営を積極的に支援した。
関西ワールドマスターズゲームズ2021事務局に専務理事が訪問しソフトテニス競技の実施について依頼・打合せを行った。

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

- 環境と教育への取組み
ソフトテニスを通じて環境と教育に取組んだ。
 - 日本連盟独自の横断幕・ポスター等の掲出と大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行った。
 - 試合終了後の握手励行を行い、フェアプレイ宣言キャンペーン活動を継続推進した。
- 会員登録制度を推進した。
- 審判、技術等級、大会申込システムを活用し、事務効率化を図った。
- 暴力行為根絶のため指導基本規程に基づき、各支部に違反救済申し立て処理委員会、日本連盟に違反救済審査委員会を設置し全国で取り組んだ。
- ソフトテニス創始130周年(日本連盟創立90周年)の記念事業を実施した。

[庶務事項]

- 評議員会は定時と臨時の2回実施した。
- 加盟団体会長会議を平成26年4月6日に開催した。
- 業務執行理事会議を4回、役員選考委員会を1回、専門委員会等諸会議を61回開催した。
- 会員登録制度に関する事項
平成26年会員登録数は455,954名で昨年比+4,727名となった。
- 維持会費のご協力を頂いた。(16団体81名)
- (公財)日本オリンピック委員会及び日本スポーツ振興センターから補助金、助成金の交付を受けた。
- 各種団体から寄付金・協賛金を受けた。

会員登録料に関する使途概要(平成26年度)

会員登録料(256,573千円)の使途は主として

- 1 競技力の向上「競技者育成プログラム」
- 2 競技性の向上
- 3 国際性の向上
- 4 大衆化の促進
- 5 広報活動の強化

等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連・中体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。

具体的な金額は一般会計や特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、登録料を原資にした補充額は平成26年度は概ね次のとおりでした。

(競技力の向上 68,778千円)

- ・選手強化費(ナショナルチーム、全日本アンダーチーム合宿、国際大会派遣) 20,216千円
- ・競技者育成プログラム推進費(ステップ1～4、支部強化推進) 36,890千円
- ・指導者養成事業(指導者養成講習会、指導要領作成費) 3,631千円
- ・その他競技力向上費(ドーピング関係費・医学研究費等) 8,041千円

(競技性の向上 32,665千円)

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 21,049千円
- ・全日本小学生大会・全国小学生大会・都道府県中学生大会 11,616千円

(国際性の向上 12,248千円)

- ・国際大会派遣費 3,989千円
- ・国際普及用器具購入費 473千円
- ・国際普及指導費(親善大会、大会振興補助、普及指導) 7,786千円

(大衆化の促進 71,807千円)

- ・地域グループ育成費(各支部へ一般登録料の20%還元) 11,518千円
- ・ジュニア育成費(各支部を通じて小・中・高・高専登録料の還元) 37,302千円
- ・愛好者増加対策 6,901千円
- ・ソフトテニス週間、支部小学生大会、支部中学生大会 7,270千円
- ・小・中・高生指導者研修会 4,516千円
- ・地域大会補助費 4,300千円

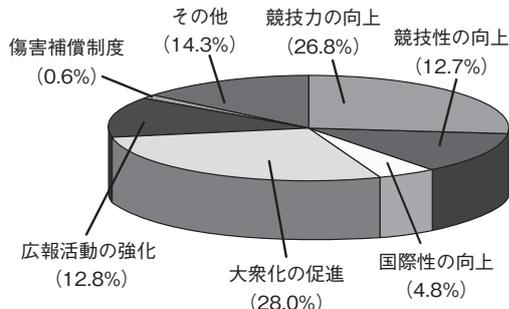
(広報活動の強化 32,824千円)

- ・テレビ放映関係費(NHK全日本選手権大会の番組製作費) 5,945千円
- ・インターネット関係費(ホームページ管理、システム構築) 8,128千円
- ・大会記録集作成費 1,358千円
- ・会員報作成費 5,936千円
- ・機関誌関係費 3,867千円
- ・その他広報活動費 7,590千円

(傷害補償給付金等 1,513千円)

- ・その他 36,738千円
- ・学連への還元 1,969千円
- ・高体連への還元 4,370千円
- ・中体連への還元 450千円
- ・会員登録事務費 26,992千円
- ・事務所取得費 2,957千円

合計 256,573千円



第70回 天皇賜杯・皇后賜杯
全日本ソフトテニス選手権大会

平成27年10月23日(金)～25日(日)
会場：滋賀県長浜市長浜市民庭球場
(放映日時) NHK Eテレ 平成27年10月31日(土) 14:00～15:30

正味財産増減計算書(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	1,467,520	1,126,583	340,937
会費収入	300,503,500	296,529,500	3,974,000
事業収入	159,047,504	157,308,697	1,738,807
補助金等収入	72,684,210	74,384,360	△1,700,150
協賛金寄付金収入	32,750,000	46,300,000	△13,550,000
雑収入	7,453,484	4,514,610	2,938,874
経常収益計	573,906,218	580,163,750	△6,257,532
(2) 経常費用			
事業費	227,388,261	219,820,068	7,568,193
管理費	116,433,605	112,148,097	4,285,508
加盟費	1,034,750	1,101,297	△66,547
競技力向上費	157,336,463	159,490,427	△2,153,964
指導者育成事業費	9,322,958	10,077,953	△754,995
大会開催等関係費	18,113,903	18,262,738	△148,835
スポーツマスターズ参加支援費	3,025,272	3,327,090	△301,818
減価償却費	1,628,204	1,650,216	△22,012
経常費用計	534,283,416	525,877,886	8,405,530
評価損益等調整前当期経常増減額	39,622,802	54,285,864	△14,663,062
基本財産評価損益等	5,862,138	0	5,862,138
特定資産評価損益等	306,000	0	306,000
投資有価証券評価損益等	△195,490	0	△195,490
評価損益等計	5,972,648	0	5,972,648
当期経常増減額	45,595,450	54,285,864	△8,690,414
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	45,595,450	54,285,864	△8,690,414
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	45,595,450	54,285,864	△8,690,414
一般正味財産期首残高	462,355,645	408,069,781	54,285,864
一般正味財産期末残高	507,951,095	462,355,645	45,595,450
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	507,951,095	462,355,645	45,595,450

平成26年度会員傷害補償制度事故実績

本連盟独自の傷害補償制度の26年度給付状況と主な傷害内容は次のとおりでした。

事故件数 34件 支給給付金 1,487,000円

(単位：件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	7						7
骨折	2			3		2	7
靭帯損傷	4						4
肉離れ	2						2
その他	11			1	2		14
計	26			4	2	2	34

充分なウォーミングアップで事故を防止し、ソフトテニスを楽しんでください。
万一傷害を負われた場合は、本連盟にお問合わせください。
なお、補償内容・給付金請求の手続きについては日本ソフトテニス連盟ホームページの「傷害補償制度」に記載されております。

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

会員登録者の実績

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508
平成20年度	3,291	51,436	17,408	279,203	87,243	810	8,288	447,679
平成19年度	0	54,239	17,415	269,939	91,165	385	7,543	440,686

(注)平成20年度より指導者区分を設置。

平成26年度 会員登録数

No	支部名	指導者		一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
		会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数
1	北海道	240	174	2,230	37	582	272	8,073	150	3,405	3	93	0	6	636	14,629	
2	青森	262	49	494	12	176	102	3,938	42	902	0	0	2	23	207	5,795	
3	岩手	340	60	1,113	31	388	134	4,416	68	1,823	1	27	0	17	294	8,124	
4	宮城	109	67	780	19	424	167	5,058	80	2,477	2	28	1	16	336	8,892	
5	秋田	209	37	555	15	333	75	2,539	43	1,048	1	17	0	4	171	4,705	
6	山形	150	36	518	19	407	70	3,020	43	1,345	1	9	0	0	169	5,449	
7	福島	375	76	662	26	545	157	7,114	73	1,639	1	39	0	1	333	10,375	
8	茨城	416	69	854	19	607	199	9,535	81	2,167	0	0	0	3	368	13,582	
9	栃木	37	41	841	16	364	127	5,764	50	1,264	0	21	0	32	234	8,323	
10	群馬	120	47	941	21	661	152	7,214	51	1,326	1	10	1	19	273	10,291	
11	埼玉	209	206	3,931	32	1,053	376	19,536	132	4,463	0	2	0	164	746	29,358	
12	千葉	662	111	1,866	20	519	337	18,021	118	3,144	1	11	0	16	587	24,239	
13	東京	206	135	2,937	25	449	250	8,065	182	4,460	1	10	0	102	593	16,229	
14	神奈川	551	98	1,097	14	368	356	20,866	125	2,906	0	0	0	17	593	25,805	
15	山梨	28	47	525	15	327	36	788	32	927	0	0	0	20	130	2,615	
16	新潟	200	58	863	21	465	158	5,065	63	1,365	1	15	0	1	301	7,974	
17	長野	141	36	1,425	17	435	121	4,620	71	1,606	1	15	0	10	246	8,252	
18	富山	77	23	374	16	367	61	2,623	28	925	0	0	0	0	128	4,366	
19	石川	39	50	648	22	402	71	3,681	37	1,070	2	8	1	47	183	5,895	
20	福井	52	37	470	5	164	39	1,547	16	587	1	11	0	2	98	2,833	
21	静岡	622	129	1,536	27	817	316	13,971	79	1,528	1	16	1	21	553	18,511	
22	愛知	250	173	3,019	19	706	346	19,601	144	5,871	0	27	0	49	682	29,523	
23	三重	83	49	636	16	342	151	6,731	49	1,287	1	7	0	12	266	9,098	
24	岐阜	45	59	882	31	598	258	7,199	50	1,875	0	16	0	13	398	10,628	
25	滋賀	73	33	510	12	384	74	994	40	1,514	0	0	1	18	160	3,493	
26	京都	99	86	824	16	398	114	3,964	56	1,545	0	0	0	1	272	6,831	
27	大阪	290	95	1,790	13	258	292	10,174	190	3,136	0	0	0	5	590	15,653	
28	兵庫	225	77	1,474	19	284	308	16,643	148	4,995	2	43	0	3	554	23,667	
29	奈良	122	37	949	8	127	65	3,044	27	945	0	0	0	0	137	5,187	
30	和歌山	135	58	734	17	224	108	3,805	27	783	1	32	0	0	211	5,713	
31	鳥取	88	33	396	12	193	35	1,145	23	506	1	19	0	1	104	2,348	
32	島根	89	47	386	10	238	53	1,839	39	821	1	2	0	3	150	3,378	
33	岡山	154	66	678	13	207	138	5,842	66	2,017	1	29	0	0	284	8,927	
34	広島	202	116	1,368	14	274	144	5,514	99	2,689	2	81	0	93	375	10,221	
35	山口	164	69	1,133	10	310	106	4,676	53	1,588	3	79	0	21	241	7,971	
36	徳島	132	23	316	7	127	99	2,357	25	506	1	30	0	0	155	3,468	
37	香川	75	28	355	9	255	47	2,304	30	732	2	8	0	1	116	3,730	
38	愛媛	157	34	577	13	271	134	4,358	66	1,275	1	62	0	15	248	6,715	
39	高知	41	26	328	11	155	36	1,144	22	391	1	5	0	13	96	2,077	
40	福岡	514	79	1,085	17	373	191	7,540	141	2,755	4	77	0	92	432	12,436	
41	佐賀	207	22	390	13	301	74	3,116	39	861	0	0	0	2	148	4,877	
42	長崎	433	55	881	16	328	151	4,857	103	1,937	2	41	0	64	327	8,541	
43	熊本	449	63	896	18	328	148	5,152	60	1,406	2	39	1	9	292	8,279	
44	大分	175	55	612	9	155	101	2,474	27	656	0	24	0	36	192	4,132	
45	宮崎	293	58	561	18	374	152	3,318	36	895	1	28	0	1	265	5,470	
46	鹿児島	327	111	1,115	38	375	189	5,004	78	1,240	2	51	1	36	419	8,148	
47	沖縄	95	41	675	11	128	47	1,257	32	361	0	1	0	33	131	2,550	
48	日本学連	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	438	6,627	438	6,651	
	合計	9,963	3,179	47,230	819	17,566	7,137	289,506	3,234	82,964	46	1,056	447	7,669	14,862	455,954	
	昨年度	9,268	3,184	48,324	809	17,260	7,133	286,326	3,256	81,402	47	1,037	457	7,610	14,886	451,227	

(平成27年3月31日現在)